

# ニュース高等専修

令和4年度文科省委託事業／地域産業中核的人材養成事業

## 「学びのセーフティネット機能充実強化」成果報告会 高等専修学校機能高度化の調査研究など発表



オンラインと併用で行われた成果報告会＝東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷で



文部科学省専修学校教育振興室  
中安史明室長



全国高等専修学校協会  
清水信一会長

令和4年度文科科学省委託事業・専修学校による地域産業中核的人材養成事業『学びのセーフティネット機能の充実強化』の「高等専修学校の機能高度化に関する調査研究」「高等専修学校と外部とのネットワーク化の推進」の合同成果報告会が2月8日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷において対面とオンラインによるハイブリッドで開かれました。

開会で全国高等専修学校協会の清水信一会長は、「国が目指す共生社会の実現のために、後期中等教育機関で先進的なインクルーシブ教育を実践しているのは我々の学校種です。良い取り組みを自校に持ち帰り、教育の質と認知度向上に繋げてください」とあいさつしました。

成果報告会の前半は大岡学園高等専修学校（兵庫県）が実施した「高等専修学校の機能高度化に関する調査研究」、佐賀星生学園の取り組みを報告しました。

大岡学園は実態アンケート調査で、例年の

学校数及び生徒数、地域連携に加え、新たに教職員数、人件費比率などを調査。全国高等専修学校協会会員182校のうち86校が回答（回収率47.3%）しました。「入学時に不登校の生徒数」は3,461人で、不登校が改善した生徒数が2,144人（61.9%）の結果を受け、支援の事例をはじめ、アンケートの分析と考察をまとめた報告書が紹介されました。

一方、佐賀星生学園は中学校の校長をはじめ、県内の行政担当や有識者が集う地域連携委員会について報告しました。県内の公立中学校を対象に調査した高等専修学校の認知度やイメージの回答を紹介しました。教員の約8割が認知しているものの、大半は管理職などの経験を積んだ教員であることから、進路指導経験が浅い教員への施策、卒業後の進路選択を定着させる広報などの課題を挙げました。

後半は「高等専修学校と外部とのネットワーク化の推進」について4校が報告しました。武蔵

野東高等専修学校（東京都）は「発達障害など特別に支援が必要な生徒の社会自立のための進路指導及び卒業後の定着支援モデル事業」について、問題解決を図る教職員研修会での事例報告、最終年度に向けた課題が示されました。

また、豊野高等専修学校（長野県）は「高等専修学校生が社会に定着するための教育現場の最適化とICT活用による学びの創出事業」、猪名川甲英高等学院（兵庫県）は「農業と地域の学びで自立支援を促すネットワーク構築」、大岡学園高等専修学校は「地方都市における地域ネットワークを活用した高等専修学校版職業実践モデルの構築」の成果について報告しました。

質疑応答のあと、文部科学省専修学校教育振興室の中安史明室長が「可能性を感じる取り組みで刺激になりました。文部科学省の施策の中でも考えていき、他の学校種や企業に高等専修学校を理解していただく活動を続けていきたい」と講評を述べました。

**（独）日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」に全ての高等専修学校生徒が加入しましょう。**

●低い掛金で厚い給付が行われます。●学校の責任の有無にかかわらず、給付の対象となります。

**【災害共済給付制度の特色】** ●学校の管理下で生じた負傷、食物による食中毒、熱中症やいわゆる突然死も給付の対象となります。

●全国高等専修学校体育大会に参加するには「災害共済給付制度」加入が必要条件です。

## 第32回全国高等専修学校体育大会

# 富士北麓でスポーツの祭典 10競技で熱戦繰り広げる



開会式であいさつする(左上から時計回りに)全国高等専修学校協会・清水信一会長、NPO高等専修教育支援協会・白井一智理事長、文部科学省専修学校教育振興室・望月香里専門官

自然豊かな富士北麓でスポーツの祭典——。「第32回全国高等専修学校体育大会」(全国高等専修学校協会、NPO高等専修教育支援協会主催、全国高等専修学校協会体育振興委員会主管、文部科学省、山梨県、富士吉田市、富士河口湖町、公益財団法人JKA、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会、専門学校新聞社後援)が7月25日から3日間、山梨県富士吉田市の富士北麓公園体育館をメイン会場に開かれました。

この体育大会は、高等専修学校相互の交流とスポーツを通して健全な精神の涵養、体力の向上などを目的としています。職業教育に取り組む高等専修学校生にも、同年代の高校生と同様に、高校総体のような「夢舞台」を与えようと協会や教職員、選手が一体となり、手作りで実施しています。今回も公益財団法人JKAによる補助事業を受けて行われました。

また前年同様、体育振興委員会は大会実施に伴う「感染症対策ガイドライン」を作成しました。出場校に健康観察票の提出や競技の際の留意事項の厳守を徹底したほか、富士北麓公園・富士河口湖町体育館作成の「感染拡大予防ガイドライン」にも則り、開催中は定期的な巡回や

確認など、入念な感染防止策を講じました。

世界遺産の富士山が間近に迫る北麓公園体育館で開かれた開会式には、来賓ならびに大会役員、選手ら関係者が出席しました。NPO高等専修教育支援協会の白井一智理事長の開会宣言に続いて、全国高等専修学校協会の清水信一会長が「全国の生徒と先生で作り上げた大会であることを忘れず、選手としてだけでなく、運営にも協力をしてください。暑さに負けず、よい思い出を作りましょう」と主催者を代表してあいさつしました。

次に来賓を代表して、文部科学省専修学校教育振興室の望月香里専門官が「スポーツは競い合うだけでなく心身を豊かにし、他者を尊重する人間形成の基礎となる側面もあります。ともに汗を流し、励まし合いながら過ごした仲間や応援してくれた家族、熱心に指導された先生方への感謝を忘れず、練習の成果を存分に発揮することを期待しています。また、スポーツをする、見る、支えることでスポーツの楽しさや意義、価値を実感してください」と中安史明室長の祝辞を代読しました。また、自由民主党の赤池誠章内閣府副大臣から寄せられた「相手を

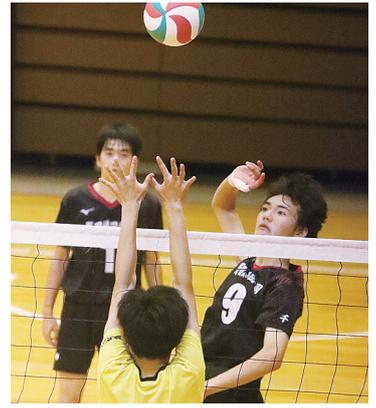
敬って怪我のない安全な大会になることを祈念します」という激励のメッセージが読み上げられました。

これらに応じて、芸術工芸高等専修学校の鈴木シェルヒコ、野田鎌田学園杉並高等専修学校の伊藤咲陽の両選手が「大会開催に尽力いただいた方々、指導して下さった方々に感謝します。スポーツマンシップに則り、全力でプレーします」と力強く選手宣誓を行いました。

◇ ◇ ◇

今大会には茨城、東京、神奈川、愛知、大阪、鳥取など9都府県21校の選手のべ650人が出場。軟式野球、バスケットボール、陸上競技、スポーツウエルネス吹矢、自転車競技など10競技の団体と個人の部で熱戦が展開されました。

競技の結果、団体では大竹高等専修学校がバレーボール女子、バスケットボール同、自転車競技同、バドミントン同の4種目を制しました。また、大和商業高等専修学校が軟式野球、バレーボール男子、バドミントン同、野田鎌田学園高等専修学校がフットサル、自転車競技男子、駅伝競走同の3種目でそれぞれ有終の美を飾りました。このほか、中央高等学園専修学校



### 第32回大会競技別成績結果(団体の部)

競技	優勝	準優勝	第3位	
軟式野球	大和商業高等専修学校	町田調理師専門学校高等課程		
バレーボール	男子	大和商業高等専修学校	生蘭高等専修学校	
	女子	大竹高等専修学校	野田鎌田学園高等専修学校	
バスケットボール	男子	中央高等学園専修学校	野田鎌田学園高等専修学校	
	女子	大竹高等専修学校	野田鎌田学園高等専修学校	
卓球	男子	生蘭高等専修学校	武蔵野東高等専修学校	
陸上競技	400mリレー男子	野田鎌田学園杉並高等専修学校	生蘭高等専修学校	野田鎌田学園高等専修学校
フットサル		野田鎌田学園高等専修学校	大竹高等専修学校	
自転車競技	男子	野田鎌田学園高等専修学校	野田鎌田学園杉並高等専修学校	
	女子	大竹高等専修学校	武蔵野東高等専修学校	
バドミントン	男子	大和商業高等専修学校	豊橋情報ビジネス専門学校高等課程	
	女子	大竹高等専修学校	大和商業高等専修学校	
スポーツウエルネス吹矢		武蔵野東高等専修学校	大和商業高等専修学校	
駅伝競走	男子	野田鎌田学園高等専修学校	生蘭高等専修学校	

### 第32回大会競技別成績結果(個人の部)

競技・種目	優勝	準優勝	第3位	
卓球	男子	杉山颯太(生蘭)	福井健介(大岡学園)	早瀬斗弥(生蘭) 鈴木康之介(生蘭)
	女子	持丸妃蘭(町田調理)	伊藤菜奈(国際共立)	小林愛音(東朋) 徳田凧沙(国際共立)
陸上競技	100m男子	平野主真(野田鎌田杉並)	會田叶門(大和商業)	千葉琉士(生蘭) 鳥山滉太(生蘭)
	100m女子	篠木愛実(大竹)	井上早紀(大和商業) 高田愛花(大和商業)	
	400m男子	伊藤大地(国際共立)	室井蒼琉(野田鎌田)	鳥山滉太(生蘭)
	400m女子	高田愛花(大和商業)	樋口也夏(大竹)	岡村希美(生蘭)
	800m男子	水野碧生(細谷)	土井洋太(生蘭)	大野稔平(武蔵野東)
	800m女子	高橋羽純(国際製菓)	野間遥(武蔵野東)	
	1500m男子	村越望夢(野田鎌田)	小林翼(大竹)	土井洋太(生蘭)
	1500m女子	篠木愛実(大竹)	高橋羽純(国際製菓)	一番ヶ瀬桜(武蔵野東)
	走り幅跳び男子	羽村陽日向(野田鎌田杉並)	會田叶門(大和商業)	横地慧亮(野田鎌田杉並)
	走り幅跳び女子	篠木愛実(大竹)	井上早紀(大和商業)	伊藤咲陽(野田鎌田杉並)
砲丸投げ男子	成田飛登(野田鎌田)	高橋賢司(野田鎌田)	サエキヒデキ(細谷)	
自転車競技	男子	渡邊真之介(芸術工芸)	田中申明(野田鎌田)	中尾泰輔(野田鎌田杉並)
	女子	篠木愛実(大竹)	乙坂もも(大竹)	両角玲那(すず学園)
バドミントン	男子	田沼修一郎(細谷)	松土慶太(大和商業)	金子大瞬(大和商業) 鈴木零央(生蘭)
	女子	斎藤明衣(大竹)	星美優(野田鎌田杉並)	井上桃葉(大竹) 冨塚綺蘭(国際共立)
スポーツウエルネス吹矢	鈴木シェルヒコ(芸術工芸)	ポムサンタシワコン(東海)	前原隆貴(武蔵野東)	

がバスケットボール男子、生蘭高等専修学校が卓球男子、野田鎌田学園杉並高等専修学校が陸上競技4×100mリレー男子、武蔵野東高等専修学校がスポーツウエルネス吹矢で優勝しました。

### 大会出場校

- ▷茨城県=東海学院高等専修学校/細谷高等専修学校
- ▷千葉県=野田鎌田学園高等専修学校
- ▷東京都=大竹高等専修学校/芸術工芸高等専修学校/国際共立学園高等専修学校/国際製菓専門学校高等課程/すず学園高等専修学校/東放学園高等専修学校/日本芸術高等学園/野田鎌田学園杉並高等専修学校/町田調理師専門学校高等課程/武蔵野東高等専修学校
- ▷神奈川県=生蘭高等専修学校/野田鎌田学園横浜高等専修学校/大和商業高等専修学校
- ▷長野県=豊野高等専修学校
- ▷愛知県=豊橋情報ビジネス専門学校高等課程
- ▷大阪府=東朋高等専修学校
- ▷兵庫県=大岡学園高等専修学校
- ▷鳥取県=中央高等学園専修学校

## 令和4年度 高等専修学校への都道府県の助成状況

県名	運営費補助	授業目的公衆送信補償金への補助の有無	設備費補助	生徒への助成	授業料軽減	本会会員校数	R4高等課程生徒数	R4高等学校運営費補助
☆ 北海道	学校法人立(大学入学資格付与校・技能連携校) @66,231 円				1	4	901	362,475
	学校法人立(非指定校) @41,852 円							
☆ 青森	学校法人立(生徒数が収容定員の3分の1以上等) @30,138 円			○	1		190	350,608
	非学校法人立(生徒数が収容定員の3分の1以上等) @13,630 円							
岩手	学校法人立 @35,960 円			○	1	4	110	345,632
☆ 宮城	学校法人立(非指定校) 1校60万円と @21,776 円					1	180	350,259
秋田		○					148	371,379
山形	学校法人立(大学入学資格付与校・技能連携校) @76,796 円			○	1	1	17	372,444
	学立以外 @11,965 円							
	私立高等学校等特別支援教育事業補助金 高等課程(特別支援教育支援員の配置) 1校1,800,000 円							
福島	学校法人立(大学入学資格付与校) @50,000 円				1	7	900	379,504
	学校法人立(非指定校) @25,000 円							
	非学校法人立(大学入学資格付与校) @16,600 円							
	非学校法人立(非指定校) @8,300 円							
茨城	学校法人立 @75,000 円				1	2	512	373,415
☆ 栃木	学校法人立 1校1,686,087 円						518	350,000
群馬	学校法人立 @20,040 円			○	1	4	290	358,354
☆ 埼玉	学校法人立 @83,400 円			○	1	2	702	316,195
☆ 千葉	学校法人立 @188,705 円			○	1	5	775	377,410
東京	学校法人立 @161,300 円		○	○	1	22	2,835	408,439
	非学校法人立 @53,700 円							
	私立専修学校特別支援教育事業費補助金(1) @785,500 円							
神奈川	学校法人立 @162,787 円		○		1	9	1,637	340,959
	非学校法人立 @23,400 円							
新潟	学校法人立 @21,400 円			○			156	359,007
富山			○	○			121	350,141
石川	学校法人立非指定校 @27,100 円						46	386,916
福井	学校法人立及びその他の法人立(非指定校) @27,000 円				1	2	32	338,388
	学校法人立及びその他の法人立(10月入学) @13,500 円							
山梨	学校法人立(県内生) 1校50万円と @4,000 円						59	362,560
	学校法人立(県外生) 1校50万円と @2,000 円							
長野	学校法人立(3年制一般補助) @46,440 円	○		○	1	1	250	349,910
	学校法人立(3年制特別補助として加算) @45,000 円							
☆ 岐阜	学校法人立 @64,822 円			○	1	5	567	372,730
☆ 静岡	学校法人立 @97,330 円		○	○	1	11	1,328	389,710
☆ 愛知	学校法人立 @145,336 円	○	○	○	1	27	7,414	349,910
	学立立・その他法人 外部から追加で人材配置 1校1,000,000 円							
☆ 三重	学校法人立(大学入学資格付与校) 1校15万円と @20,440 円	○		○	1		914	353,398
	学校法人立(非指定校) 1校15万円と @15,940 円							
☆ 滋賀	学校法人立技能連携校 @85,000 円					1	68	342,000
京都	学校法人立専修学校及び各種学校総額 60,000 千 円		○	○	1		240	338,529
☆ 大阪	学校法人立 @326,700 円			○	1	23	4,283	326,700
☆ 兵庫	学校法人立(大学入学資格付与校) @148,274 円			○	1	19	1,642	364,237
	学校法人立(非指定校等) @10,112 円							
	非学校法人立(非指定校等) @7,474 円							
	大学入学資格付与(特色推進事業補助) 234 万 円							
奈良	学立立(3年制以上) 1校120万円と @35,500 円	○		○	1	4	101	362,000
和歌山	学校法人立(大学入学資格付与校) @30,000 円						60	345,770
☆ 鳥取	県内全専修学校(14校) 総額 1,924万9千 円		○	○	1	5	289	460,904
	学立立高等課程・技能教育施設3校 総額 6,100 万 円							
☆ 鳥根	学校法人立(大学入学資格付与校) @110,363 円		○	○	1		69	349,910
	学校法人立(非指定校) @19,135 円							
	外国人等対応支援 1校800,000 円							
	私立専修学校生徒確保支援事業 総額 2,160 万 円							
	新型コロナウイルス感染症拡大対策事業(事業費の10/10) 85万9千 円							
岡山			○	○		2	134	335,943
広島	学校法人立(3年制) @36,000 円				1	5	681	376,127
☆ 山口	学校法人立(大学入学資格付与校) @85,000 円	○			1	2	418	353,500
徳島	学校法人立(大学入学資格付与校) @100,000 円			○	1	1	181	373,599
香川				○			151	361,775
愛媛				○			171	349,940
高知	学校法人立 @21,160 円				1		1	372,805
福岡	学校法人立指定校(大学入学資格付与校) @22,500 円		○		1	7	2,007	376,570
☆ 佐賀	学校法人立(大学入学資格付与、不登校経験や発達障がい及びその疑いのある生徒、全日制中退者等の受け入れを行っている)と対外的に明示している) @302,824 円	○	○	○	1	3	710	388,127
長崎							170	371,182
熊本	学校法人立(大学入学資格付与校) @15,000 円			○	1	4	566	352,660
大分	学校制 1校250,000 円						230	349,810
☆ 宮崎	学校法人立(大学入学資格付与校) 全日制 @288,100 円			○	1	3	574	349,553
	同 通信制 @62,740 円							
鹿児島	学校法人立専修学校運営費全体 総額 3,322万1千 円					2	13	349,543
☆ 沖縄	大学入学資格付与校 総額 1,474万6千 円				1	3	273	352,105

(1) 交付年度5月1日現在障害児が在籍。

(☆印は前年度比単価等が増額した都道府県)

11 27 32 R4会員校数 R4生徒数 R4高校補助金平均

191 33,634 361,128